新日本建設に輝く！維新の秘錄

みごと第一卷公刊さる

いづれも門外不出の尊い史料

維新史料綱要成る

【東京八日發本社特電】明治維新の偉業や、かしい事蹟を不朽に傳へる維新史料の編纂事業は明治四十四年五月文部省に臨時維新史料編纂會が設置されて以來廿五年間、諸學者の努力が續けられ先頃第一卷四千百八十餘頁に上る大日本維新史料稿本の完成を見たので同會では愈々學界多年の要望に應ふる爲め用史料の出版を附記し（維新史料綱要）全十卷を公刊する運となり此程其第一卷を刊行した今回の第一卷は年代的には弘化三年二月孝明天皇の御踐祚から安政元年十二月迄の間に於ける我國内外の重要史料を網羅し初めは我國に通商條約の締結を迫つた大事件の經過を記述したもので同會では愈々學界多年の要望に應ふる爲め用史料の出版を附記し（維新史料綱要）全十卷を公刊する運となり此程其第一卷を刊行した今回の第一卷は年代的には弘化三年二月孝明天皇の御踐祚から安政元年十二月迄の間に於ける我國内外の重要史料を網羅し初めは我國に通商條約の締結を迫つた大事件の經過を記述したもので原本は明治八年編輯が會併せた時内務省に移されたが關東大震災で焼失した爲め現在では文部省所藏の寫本が殘るのみであり國寶的史料と珍重されるものだ

同會では嚮に史料編纂は最年二册づつ刊行の豫定で第一卷は二月頃、夫から四ケ月毎に逐次刊行、昌紀二千六百年の昭和十五年には全十二卷の刊行を終る筈です、廿五年の長期と百數十万圓の國費を費した國家的大事業が始めて世に出された譯は決して輕へません

農村兒童のため 宮古馬を飼育

羅東郡冬山公學校で

【羅東電話】羅東郡冬山公學校では將來その一部分が農村の中堅人物となるべき兒童等に對し現下の國策として實際の大方針による馬政計畫の一端を其他に鋭へ込まうとの建前から蕃産同樣の先生等一同が醵金して滿蕃隣接宮古から宮古馬を買ひ求め目下校内で實科教育の資料として飼育中であるが其の教育方法も〝先づ馬に親しませる〟といふ方針で先生等が僉議を重ねつゝはわざ〳〵僻邑から馬を購入して來たさうであつて時間割に無理な一事實ではあるが遊び有意義な實地教育だと各方面に好評を博してゐる、臨時校では職員兒童等も一丸となつて馬の飼養法を實地に研究する筈で成績を擧げてゐる

◇……梅花綻ぶ……芝公園の立春

濠洲を風靡するモダン語は日本語

知識階級や學生間に大流行し政府で檢定試験も施行

【東京八日發本社特電】濠洲政府が公式認定した（帝國外國語）として、世界最初の日本語檢定試験が同國全州で一齊施行された、ニュース大使がメルボルンから派遣された東京商大教授ピーター・ラッソー博士の下に實施した、濠洲では最近日本語研究熱が非常らしい勢ひで知識階級及學生間に擴がり、既に弘化三年二月孝明天皇の御踐祚から安政元年十二月迄の間に於ける我國内外の重要史料を網羅し初めは我國に通商條約の締結を迫つた大事件の經過を記述したもので原本は明治八年編輯が會併せた時内務省に移されたが關東大震災で焼失した爲め現在では文部省所藏の寫本が殘るのみであり國寶的史料と珍重されるものだ

同會では嚮に史料編纂は最年二册づつ刊行の豫定で第一卷は二月頃、夫から四ケ月毎に逐次刊行、昌紀二千六百年の昭和十五年には全十二卷の刊行を終る筈です、廿五年の長期と百數十万圓の國費を費した國家的大事業が始めて世に出された譯は決して輕へません

石見丸が又復 鼻頭沖でSOS

基隆沖は八日から大荒れで 大小船舶の遭難續出

【基隆電話】基隆近海は昨夜の暴風で七日夜來久し時化模樣となり為めに船舶の避難が激増した、去月中旬、避難した商船は沿岸航路石見丸は基隆に向けて花蓮港發八日朝八時頃基隆指揮官の命令により基隆沖迄差掛つた際突然機關に故障を生じてスクリューの回轉停止した為めに航行不能に陷つて漂流波の為め沿岸岩に叩きつけられる危險あり、急報により商船會社では同船大連より入港たまく〳〵進行に假泊中であつた同社貨物船小浦丸を其の儘救助の為め出動せしめたが、風波はげしき上ダメと沿岸に近づいて居るので作業困難を極め兩船とも沿岸に叩きつけられる危險性があるとの事に商船は更に遠洋方面の避難をとらせ手續船を再出動せしめた、夕刻近く鬼船して歸港の發表で今の所後報なく詳細不明であるが、船體及び乘組員に未だ異狀なき模樣、又救援側でも明かでないが光榮の遭難もあり同船では入港後檢疫的に調査修復する筈になつて居る

二、基隆市社會課市營職業紹介所では機船船員救援丸（二五馬力）に依て出港時化模樣でデンショート島陰に避難假泊中であつたが八月午前十時頃激浪の為め錨鎖を切斷されてその儘流され、一路を大破せしめた、全部發船ではあつたが其の關係當局で取調べ中、船員の一部のみを救助して歸港したが大船丸、陽山丸を救援の為め石見丸には總指揮者として彼の能力は或る限度迄過ぎず、為めに台灣にかける音樂の進歩を阻められ今回の檢擧は各方面に多大の好影響を與して居る音樂に關する人々は彼の檢擧を以て音樂進歩の證據が除去されたものとして細田無き後彼の指導にあつた音樂關係の將來に對する希望をめぐらすと共に台灣にかける音樂檢閲の進歩の為めに絶々な計畫を建てて居る

三、大阪石造商事所有發動機船船員救援丸（二五馬力）は去る八日朝九時基隆に入港大正町第十岸壁に繫留せんとした際多數の石炭艀が頻集して居る為め發動作業困難を極め發動機一部は流失、一部を大破せしめた、全部發船ではあつたが其の關係當局で取調べ中、船員の一部のみを救助して歸港したが大船丸、陽山丸を救援の為め出動せしめたが大船丸、陽山丸共に大型船である為め石見丸には總指揮者として彼の能力は或る限度迄過ぎず、為めに台灣にかける音樂の進歩を阻められ今回の檢擧は各方面に多大の好影響を與して居る音樂に關する人々は彼の檢擧を以て音樂進歩の證據が除去されたものとして細田無き後彼の指導にあつた音樂關係の將來に對する希望をめぐらすと共に台灣にかける音樂檢閲の進歩の為めに絶々な計畫を建てて居る

離礁は絶望か

救援船が近づけず 石見丸刻々危險に瀕す

【基隆電話】基隆の石見丸はその後の模様によれば沿岸より僅か四分の一浬位の近距離で物凄い暗礁の間にありアンカーを入れんと幾くも支へつつある商船には非ず更に風山丸を救援の為め出動せしめたが大船丸、陽山丸共に大型船である為め石見丸には總指揮者として彼の能力は或る限度迄過ぎず、為めに台灣にかける音樂の進歩を阻められ今回の檢擧は各方面に多大の好影響を與して居る音樂に關する人々は彼の檢擧を以て音樂進歩の證據が除去されたものとして細田無き後彼の指導にあつた音樂關係の將來に對する希望をめぐらすと共に台灣にかける音樂檢閲の進歩の為めに絶々な計畫を建てて居る

舊政治家嫌ひの堂々たる歩み

髭が語る果敢な心魂 （1）

なぜならば、林大將の今日までの出所進退言動を通じて觀察して見ると、それを政治家としての背景から觀ても決して立派な言動であり政治道として本格的な歩みを續けて來た人である、で、少し固くはなるが先づ順序として、この点から筆を進めて行くとしよう

◇

林將は、今回の改造で陸軍から完全にノックアウトされた宇垣大將と近くなかつた、宇垣朝鮮總督時代に、同じく朝鮮軍司令官として總督を輔佐する地位にあつた、組閣の大命を拜した日に彼は故渡邊大將の退閣記念碑の碑文を揮毫して居る位である

◇

それとは別に、荒木大將や眞崎大將などとも惡くはなかつた、荒木大將が陸軍大臣を辭めようとして電報で朝鮮から林さんを呼んだ、その途中での陸軍省と列車との電報のやりとり、斯衝振りは、今でも美しい友情として世人の好話柄となつてゐる、その電文は荒木「陸相の後任を承諾せよ」

林「武藝は今やめる時ではない、俺は受けぬぞ」

荒木「俺にどうしてもやめるのだ承諾せよ」

林「武藝以外、後任者はない、是非やめると云ふのに、俺がその後に坐はれるものか、會つまで待て」

と云つたやうな問答の取り交したものだつた　そして上京した林大將は、荒木陸相の後任を見ひ止まらせた、が、後其地位に依り統帥權獨立として荒木陸相を援けたものである

◇

其後荒木陸相が、どうしてもやめねばならぬとなつて、後任を選ぶに陸相の地位に在つた林さんではあるが、いや陸相の方が適當であるとして其の後任を推薦した、自分の後釜には勞働大將を推薦して陸軍を保つことには勞めたが全軍一丸、若干の不滿を抱くものを抑へようとの意味であつたのである、ここに林さんの偉

前に書いたやうに林大將は、陸軍部内に二つの潮流があつたと假定すれば、その兩方から厚い信望を持つてゐた、しかし一面からこれを見れば、その何れにも偏せず常に中道を歩んで出所進退を明瞭にして來たともいふべきである、中道とは中庸の道である、日和見である、四圍の感情に目をくれず常に自己の必死の努力により滅火したが暗夜に燈火を

御殿女中

(184)

(原作)銀杉完二　(挿絵)神保朋世画

「刑部どうした。さっき袈裟にやり込められてゐた時には、さすがの切下頭にも、憤気が立ってゐたぞ」

袈裟を送り出した日道が戻って来ると、森山はそこに待ち構へてさう云った。

「ふふん。さすがのおれも飛んだお万かきに思ひないふことに振り廻されつたのであらう。袈裟の顔には慶分和らぎの色を見せた。

「勝つた筈に森山もころりと大へこみ。わっはは日道様にいにこにこあるのやや。」

「ございますは御坊様、理やかにお聞下さいまして有難う存じまする。ではお先にこれにて。——おころ殿も参りまさう」

森山に促されて、おころがびしやりと襖を閉めて出て行くと、袈裟は脇息の傍へ寄添つた。しかし眼がやう上げたその眼には涙がいっぱいであつた。

「刑部様、森山の申したことはほんとのことでございますか」

「いや実はおれも自分でもう思ひまさかお腹になつた筈がおころがお万の方様のこゝろ」

「そんならわらはも安心なれど、刑部さんはあの通り駄かに単りゃあるかゝ、油断ならぬぞえ」

「これさ、そのやうにお前さんが心配するやうな事は断じてないから安心せい。先刻のやうな難題で責つめられると、おれア男に弱くなつてゞアとぞるん」

「ほほほほ。でもおまへがあのやうな女を甘やゆる。……」

「その女だつて愚気があつて云つたんぢやアねえ、おめへがあんまり嫉妬やきやれえから言い出したんぢやアれえか」

「憎つたらしい。憎つたらもつとこうもへ書ンねえ」

日道の手前袈裟の頬をつゝと引張ると、袈裟はそのまゝ日道を見上げて恥しげに愛嬌笑顔をしたさうさきおまへは追ひ焼さうとしたくせに。……」

それから半刻ばかり経つて、おころを連れて帰つて行く袈裟の姿には、御殿を独立てた時の様は微塵もなく、満ち足りた疲労の色だけが浮んでゐた。

聯珠行脚

七國　鈴木梅石

一月十九日　大牟田より

何処へ行つても「ことしやア暖にぬくかア」といはれる、久留米附近は珍らしい大雪ながら気温はその割に下らない。雪と気温は別らしく熊本から大牟田辺は文字別だつた

阿蘇に遊ぶか雪仙に行こか月の有明見ておこか

そこにや阿蘇こちや何時でもなどと近い人ほど行かぬ阿蘇と、我国唯一の噴火口を持つてゐるので、遊山は他国に譲つた。大牟田では先輩親しくなつた築紫人に案内を乞ひ、築紫は都の郷土二千噸築紫丸の諸施設を見せてもらし、夜は遅くまで打つ、万田駅の少し手前が福岡と熊本の県境で市線の電車もバスも此処までしか行かない。もう数十といふ所だが道悪なら仕方ない。ここから先は熊本県の管轄だ。

原野を貫いて一直線に走つてゐる道路の両側は見渡す限り青々とした麦畑で、ところ〴〵に農家が点在してゐる。

大牟田から先は福岡県の管轄だ。

「ふゝん。いやに御丁寧が入るおやアねえか。どうせ只で人を助けるおめへらやあるめへ。警悟はしてるよ。儲ら要るんだ」

「ところが今日は御施の御開らやれた。ちつとばかりこつちから注文の條があるのよ」

雨の夜はひとしほ淋し胸ぬちに文世の事のみ想ひつづくる　基座　山崎　芳子

旧風呂を見ると子供と父とは山くみなどを折りてかへりぬ　台北　泉　優里

窓あけてみればめづらし初冬の空にかかれる大きな虹　新しき年にさゝぐとかしこみて白菊の花枕に活けたり　澎湖　夢　熊

大空の照く星を仰ぎつつ麗れて寒き癒を思ふ　駅竪　周　熏　竪

書をよく縁に寒さの迫りをりてまたほろ〳〵とむら時なり　臨港　丁　瑞　乾

堰井戸に子等が落せし古馬穴（男）夜ふけてはまた一つ掘る　吹き晴れし午後の陽ざしに校庭の遅れざりヤの赤いろかも　台北　牧野　幸作

微かなる囁きさうつ光射さぬ山の細路を分け入りけり　民白なる蜜蜜の屋下つ山の彼方に青き海原がみゆ　大鳥の峯の上の風に落葉の舞ひて新年の道をつゞりし松の葉の上に仰向きたなり休みたり　足を揃み都かに下る山坂の道の辺に見し青きみの実　汕頭　有馬たま子

見はるかす甘蔗畑にうつすりと記事

▲熊本・米二月號）肝付兼武傳（國學院）松重武郎の勤王事蹟（望月茂父君那須太郎の遺稿）父君の財産大御所は誰か（一記者）人氣作家は新年號でどれだけ稼いだか（鹿谷正男）其の他（定価二十錢東京堂）

▲朝鮮（二月號）北支を巡る各国の利権（宮山文雄）東京政府の首脳者（谷田俊介）風を語る政界漫評（石塚隆志）汪兆銘支那の全貌（佐藤龍外）五名伊藤博文物語（伊藤正徳）其の他時事に関する論物多岐（小野金次郎）を政治定価二十錢東京、神田、淡路町二ノ七其社）

▲傳說（二月號）肝付兼武傳（國學院）松重武郎の勤王事蹟（望月茂父君那須太郎の遺稿）父君の財産大御所は誰か（一記者）人氣作家は新年號でどれだけ稼いだか（鹿谷正男）其の他（定価二十錢東京堂）

▲朝鮮（二月號）北支を巡る各国の利権（宮山文雄）東京政府の首脳者（谷田俊介）風を語る政界漫評（石塚隆志）汪兆銘支那の全貌（佐藤龍外）五名伊藤博文物語（伊藤正徳）其の他時事に関する論物多岐（小野金次郎）を政治定価二十錢東京、神田、淡路町二ノ七其社）

▲大衆往来

日本主義政治鬪爭
協議會訂十日結成
將來大有擴大之性質所共注視

東京八日電。日本主義團體全國設在二百餘。有識衆。此非常時。聯之爲一。以期强力統制。進出於政治鬪爭之前線。即訂來十日午後二時。假日比谷松本樓上。創設新政治團體「日本主義政治鬪協議」。江藤源九郎。田中養達。椎尾辨匡。宮崎龍介。今村均諸氏。右翼諸團體有力者。計十名參集。橋本欣五郎。建川美次。小林省三郎。中野正。等。亦皆列席。援集江藤少將爲委員長。以舉就政治團體。日本主義政治鬪爭「協議會」結成式。大協議會之誕生。即將日本主義諸團體之名實相稱。就以統一團體者。凡其行動。綱領。以新日本主義之建設爲中心。以舉「既成政黨打破」。「共產主義」資本主義的民主主義。個人主義徹底的粉碎。「大結成後。衆來三月市會議員改選期之機。直進於政治前線。究此協議會之動向。將來必能强大。各方面相當反響云。

政黨是々非々而來
政府是々非々而去
如或爲非正面衝突不得已
決無戀々林首相車中談

東京八日電。林首相。新任本省之使命。到東京。北於車中。經過北獨特之信念。內容如左。

東京市民出飛行場送迎委員。利根飛行第十四聯隊。即返。調該隊飛行場。不妨川於民間航空路能否場。是去月六氏。九氏之機。山木砂金鑛區。於十五時抵巴大柑。八日觀察。斷律。許在選基里湊。觀覽。時十五分抵嶽洩。晚投宿德湊云。

第十四聯隊飛行場
民間機發着難實現

但飛行聯隊一邊經已承諾

飛行聯隊一邊經已承諾。後長。七日午前九時。視察。築港。吉野省。年訓練所。農業補習學校。商業公學校。下大魯閘峽。同五時抵巴大柑。八日觀察。斷律。許在選基里湊。觀覽。山木砂金鑛區。於十五時五十分抵嶽洩。晚投宿德湊云。

鐵材俏落
入口仍不如意

客臘以來。鐵材迄起。造船以變後始放落。一月初旬以變後。始放落。一月初旬。附議於街協議會。而其額。如意。我國鐵材。僅出兩。要之三分一而已。今後再增加也。

陀無驗入。錫山新嘉坡。香港。中國等驗入。國內其產。不及儲川半數。計其不足乃由美國驗入。因美國價貴。最近水曜會建值百十七圓新高値。金物因外國市況硬調。輸入不如意。我國鐵材。僅出兩。要之三分一而已。今後再增加也。

宜蘭街明年豫算編完
將起債十萬圓

宜蘭街來年度豫算。農山長。及岩山。楊樹中街長。助役等。諮吏員。供衣編成。其他特設。警備。如經常部二十四萬五千圓。歲出經常部十五萬八千圓。同臨時部二十一萬圓。新規事業。有市區改正費十萬四千內外。市場改築四萬五千圓。線級加。所伸小公學校營繕費一萬餘圓等。其不足財源。決不依增稅。擬起

國民不安之稅
及物貴皆欲考慮
結城藏相車中談

東京八日電。結城藏相。七日午後九時。到東京驛。歸京。其於車中。明其修正馬鈴薯財政之立場。所言如左。

豫算修正。日下當局。方爲檢討。欲來九日閣議。定其根本方針。案成當即提出。會。議會再開前。不欲先行內示與政黨交涉。欲政界十分考慮。

臺中市尹
郡守會議

臺中州下市尹。郡守署長會議。六日午前八時。開于州廳會議室。松岡知事。佐治內務。中平警務兩部。中神社寺。課長。藤田警察。共犯之森。高等。通譯。等。四山。再開情報。部。於午。旅館之就。

高雄馬公間定期船
鳳山丸改裝完了
訂來十一日就航

高雄。馬。間之定期船。鳳分。無稅品即從慣之三厘。凡船舶三百五十噸。未滿者。一噸八仙。三百五十噸以上者五仙。一年增收六十萬圓。將以此爲擔保。發行二百萬金弗之公債。此番課稅。廣東入港船。必遵大打算云。

自動車聯合會
定期總會
開于新竹市

臺灣自動車聯合會第三回定期總會。訂來十八日午前九時半。開于新竹市公會堂。該提案如下。一。請願于督府當局。以督府爲設置中心。設置自動車營業改善調查委員會二十人。委員中二十人。官吏。自動車業者。二十人。官吏。自動車業者。二十人。委員會。設置。此外臺灣經濟團體。

粵東輸入貨
賦課嘸稅

廣東稅關。定來十八日起。對輸入貨物及船舶。依據。附加稅。順稅。百二十。

臺南刑務所
發生四人互殺事件
死二名檢察官實地驗屍

本月五日下午近四時。臺。南刑務所。突發生囚人互。殺事件。兇手係澎湖廳。安庄。蛸。年二十九。張以殺人未遂。被判懲役七年之李德元。同所。被殺。者。李。年二十二。同。陳。同。強盜傷害。罪。至助。同。左腹。深。至。腹腔。達。胃。左腹部。深至。腹腔。胃。小腸。等。出。即死。傷害。致死。罪。被判。懲役十一年。同月之。張。殺人未遂。罪。所。同之利。擊。槍。刺。左。胸。部。深。至。肺。臟。達。心。臟。即死。傷害。致死。罪。被判。懲役十一年。同月之。李

臺灣日日新報

日本夕刊 共二十頁

編輯兼發行人 木下佐一

印刷所 臺灣日日新報社印刷工場

發行所 臺北市榮町一丁目一番地 電話(3)〇〇八番 振替口座臺北〇〇八番

有斐閣 刊行

法學博士 平田慶吉著

新刊 菊判美裝上製 總紙數四七七頁 定價三圓五十錢 送料四十七錢

支那新聞を解剖する 竹久冬生 東京通信

支那新聞を解剖する 竹久冬生 東京通信

地方で大金を儲ける法 内藤生

地方で大金を儲ける法 内藤生

支那新聞を解剖する 竹久冬生 東京通信

支那新聞を解剖する 竹久冬生 東京通信

支那新聞を解剖する 竹久冬生 東京通信

臺灣に愛國切手の發行如何

本島中心の航空事業の爲め

一

貼附切手なるものはもと〳〵信書の運賃として政府が收納證をでるといふしるしとして作られたものであつて、最初一八四〇年にイギリスのローランド・ヒルといふ人の發明になるものであることは既に周知さるところである、即ち貼付すべき切手として或々の声を挙げてから來る昭和十五年を以て國百年の祝月を期するのであるが、此度の組織が複雑化するに伴れて係の仕事が煩瑣となり數ケンに堪ゆる郵便切手、その本來の使命以外に可なり重い役目を附加されて了つた、それは十九世紀の末葉から發達し來つた切手面の圖案に國旗を描らして人目を惹くやうにして、その國を宣傳する宣傳使の役割をも持たしめる外、更に切手面の額面金額以外の額を加設しその加設した分は他のいろいろの費用にといふ名目で收納するといふ仕組が工夫され出した。

二

即ち一般に慈善切手の名の下に特殊の切手を發行し、之に依て郵便物に貼附されて發信人の意思に基き或る特殊の慈善事業に寄附金を募集し、小児利益増進、婦人救護、小児愛護、結核予防、傷痍軍人救護、赤十字資金、インデリ・ルンン救濟等の社會事業資金に充つるやうにもなり、更に轉じて國防費の為めの切手を發行し、國民に愛國心の昂揚を計るやうにもなつて、茲に於てか、ヨーロッパ諸國に於ては殆んど全部が切手面額發行となり切つて居るのである、然しこの仕組の切手發行には或る形に依らずして國民が一面に於て義務の用務を為しつつ他面に慈善的事業を持つて居ると、之が為に全國では既に幾百萬圓の切手を發行し、費信の基本料金たる二錢の切手を五錢で賣り、二錢を以て航空國策實現の基金に之を當はさうといふ計畫があることが傳聞されたので、實現の日を待つて居たのであるが、今尚は實現して居ない、若し發足の通り二錢の内四錢に當上さるるならば之を大體考へた七錢にして殘りの二錢又は三錢は航空事業の一部に充てることとしてもよからう、周知の如く日我國は時局の進展と共に海軍方面では無條約時代に入り陸軍方面ではドイツとの間に反共協定も取結ばれ、且つ満洲國との提携の下に着々と足固めをなしつゝあり、殊に飛行機關係の擴張を急務とする折柄として愛國切手と銘打つたものが發行されたならば我が國民性として喜んでこれを使用し航空網を敷め得ることと思ふ、現信省の胸算用に依れば此の種切手で二百万円は得られようといつても一百万円は得られるであらう、本島中心の航空事業は多々益々發展せしめねばならぬ情勢に在るは改めて喋々するを要せぬところで、吾等としては一日も早く同切手の發行を待つものであるが、若し遞信省の發行にして難色あらば更に一歩を進めて官廳の

林内閣の政綱を發表

【東京八日發】林内閣成の方向を宣示すべき政綱の声明に關しては八日の臨時閣議に諮り正式決定を見たので直ちに樞密院の審査手續きをとるとともに八日午後零時二十分閣議終了左の如く發表された

今次不肖閣ら大命を拜して内閣組織の重任に當るや、恐懼感激の至りに堪へざるなり、即ち旧弊を一洗し清新爽快なる内閣を組織せんとして奉公の誠を致さんとす、聖旨を奉戴して我が國體の本義に基き擧國一致すべく現下内外の情勢に顧み現内閣の政綱として左記の如く明徴にし、政綱實現の大義を闡明し、施政一新の實を挙げ、國運伸張の重責を全からしめん事を期す

一、外交刷新を斷行し、帝國の實力に適應して、東亜の安定を圖り、人心の不安を解除せしめざるべからず、今や大命を拜して施政を遂行するに當り、先づ擧國一致の精神を發揮して、帝國の外交國策を遂行し國際關係を明瞭ならしめ事を期す

一、内外の經濟情勢に適應して、產業の綜合的發達を企圖し、保護の施設と共に適切なる統制を實施し、而も國民創造力の發揮、企業心の勃興を助長せん事を期す

一、國防の充實を圖り、時勢に適合したる革新を斷行せざるべからず、擧國たる態度一新の實を挙げ、國民生活の安定を圖り、人心の不安を解除せしめざるべからず、今や大命を拜して施政を遂行するに當り赤誠を披瀝して一意奉新の方途を講じ以て擧國翼贊の途を完うせん事を期す

一、國際正義に則り東亜の安定、萬邦の共榮を目的として善隣一致

一、公明な政治の運行を期すとともに、政綱の實施に當りては、常に輿論の動向に留意し、公明なる政治の運行を期す

一、綱紀の粛正を圖り、官吏の服務を嚴正にし、公正廉潔の氣風を作興し、以て政治の刷新を圖る

一、財政の整理を斷行し、國力の充實を圖るとともに、財政の基礎を鞏固にし、以て國運の伸張に備へんとす

一、教育の刷新を圖り、文教の興隆を期し、以て國民精神の作興を圖る

一、農工商各般の生産力の擴充を圖り、國民經濟の發展を期す

一、交通通信の整備を圖り、國防經濟の運用に遺憾なきを期す

財界は一般に好感

自由主義を基調とする 統制經濟政策に

【東京八日發】八日正式に林内閣の政綱が發表されて極めて抽象的ではあるが大體自由經濟を基調とした統制經濟を目とする政府の財政經濟政策の意圖が明らかにされて財界一般は積極的ながら好感を示してゐる、即ち結城藏相の政策の主眼は國防軍備充實の必要から軍需工業の確立を緊要なりとしてゐるが、このため生産力の擴充を圖る上に急激な変動を與へることは財界一般の警戒する所であつて、この點に關しては藏相時代の失敗に依つて明らかであるので内外の經濟情勢に適應して漸進的に統制經濟を實施し、生産力の擴充を圖るとともに、國民生活の安定を期し、人心の不安を解除せしめざるべからず、今後行ふべき諸般の政策は着々これが具現を企圖すべし、現内閣は私を挟し公に非し徹底あるなし、今や大命を拜して施政を遂行するに當り赤誠を披瀝して一意奉新の方途を講じ以て擧國翼贊の途を完うせん事を期す

首相、政綱を放送

兩三日中にラヂオを通じて

【東京八日發】政府は八日の閣議で政綱政策を決定、林首相の名を以て声明、全國民に林内閣の施政の方向を闡明するところあつたが林首相はこの政綱を全國民に徹底せしめ國民の總ゝところを明示し民心の安定を圖る為めラヂオを通じて八日の声明をもつと敷衍して放送することを至當であるから再修正することは至難であるから再修正することは至難であるから再修正することは至難

新興氣分横溢の福建省視察記（終）

各地の産業政策を見る

三井物産會社支店長　池田卓一

福州は昔は榕城と稱したさうだが今日では見る影もなく滅れて居る。大正六年の大火から再生の氣分は行政機關を始め一般の建築に溢れて居るのであつた。甘蔗も多く産出されるが、殊に福州の西北方に當る閩清縣地方は甘蔗の産地として有名である。閩清縣は福州から約百二十支里の距離にあつて、閩江の支流に當る梅溪の流域に沿ふ山地と丘陵地とから成つて居る。山地は殆んど全部が森林地帶で、松、杉、樟、楠等の喬木が繁茂して居る。丘陵地は大部分が茶園で、茶樹の栽培されて居る面積は約二萬畝に及ぶと稱せられて居る。茶樹は一般に土質を選ばないが、閩清縣の茶園は殆んど全部が赤土の丘陵地帶に栽培されて居る。赤土の丘陵地は一般に地味が痩せて居るが、茶樹の栽培には適當して居るものと見られて居る。